

〔様式1〕 平成18年度 事務事業評価表					
記入年月日	平成18年4月25日		記入者		連絡先 2175
部 名	企画部	課 名	広報課	課長名	白井 誠一
事務事業名	テレビ広報				
予算上の事務事業名	テレビ広報				
1 総合計画における位置づけ			施策コード	36110	
基本目標	Ⅲ「躍動し 魅力あふれる交流拠点都市」をめざして				
政 策 名	第6章 高度情報化への対応を図ります				
基本施策名	第1節 豊かな市民生活を実現する情報化の推進				事業開始年度
施 策 名	第1施策 情報通信メディアを活用した行政サービスの推進				昭和63年以前 ▼
2 実施根拠及び関連法令・条例等	相模原市広報広聴規則				
3 個別計画の概要	概要				
計画名					
計画年次		年度～		年度	
4 事業形態の区分	啓発・広報・イベント				▼
5 事業概要	<p>(1) 事業の目的 (何のために行うのか、またはもたらしたい成果)</p> <p>(2) 対象 (誰、何)</p> <p>①テレビ神奈川スポット放送 TVKの昼の生番組内で相模原市のイベント情報などをお知らせし、集客・PRにつなげる。</p> <p>②ケーブルテレビ情報番組 地元のケーブルテレビJ：COM相模原で、相模原市情報番組を制作・放映し、相模原の隠れた魅力を紹介する。</p> <p>①市民・県民</p> <p>②市民</p> <p>(3) 平成17年度事業の内容 (活動)・・・いつ、どのような方法で実施した内容 (活動)なのか。</p> <p>①テレビ神奈川スポット放送 TVKの昼の生番組「ハマランチョ」内で放映。番組はTVKナレーターと市担当者との電話での生トーク形式で、関連する写真などを画面に写しながら進行する。 放送日時＝毎月第2・4月曜日午後1時10分頃から約5分間</p> <p>②ケーブルテレビ情報番組 番組は年3回制作 (8・10・1月)。制作月はJ：COM相模原 (2CH) で毎日 (1日2～3回) 放映。15分番組。</p>				
6 関連・類似事業や他市の状況	<p>関連事業 ビデオ広報＝市政の動きや施策、観光案内、活躍した人物などを映像で紹介するビデオ番組を年12回制作。費用は年間1,446万円。</p> <p>横浜・川崎＝TVKに独自の枠を持ち、市政情報などを発信 (横浜＝約1億3000万、川崎＝約3600万)</p> <p>※17年度調査</p>				
7 事業費の推移	〔単位：千円〕				
年 度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度
事 業 費	40,017	1,878	1,878	8,878	8,878
一般財源	40,017	1,878	1,878	8,878	8,878
受益者負担金	0	0	0	0	0
その他の特定財源	0	0	0	0	0
人件費の合計	982	990	983	1,154	1,154
事業コスト合計	40,999	2,868	2,861	10,032	10,032
8 事業効率・・・活動単位当たりの事業効率					
事業名 (または、主たる事業名)	ケーブルテレビ広報番組制作・放映委託			対象名称と単位	番組制作本数 (本)
年 度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度
事業コスト(主たる事業)	575	2,074	2,074	9,247	9,247
対象数	3	3	3	22	22
単位あたり経費(円)	191,667	691,333	691,333	420,318	420,318
前年度比		3.61	1.00	0.61	1.00

9 活動指標・・・実施した内容(活動)を数値化したもの					
指標名と単位	番組制作本数	指標式と指標の説明		1年間に制作した本数(本)	
	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度(目標)
実績	3.0	3.0	3.0		
目標	3.0	3.0	3.0	22.0	22.0
目標達成度(%)	100.0	100.0	100.0		
10 成果指標・・・もたらしたい成果の達成度を数値化したもの					
指標名と単位	視聴率 (市政モニターアンケート)	指標式と指標の説明		(定期的に見ている人数÷回答者数)×100	
	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度(目標)
実績	19.1	19.1	19.1		
目標	25.0	25.0	25.0	25.0	25.0
目標達成度(%)	76.4	76.4	76.4		
11 個別評価					
(1) 妥当性の評価 [A:妥当である・B:妥当性に課題がある・C:妥当でない]					
A	<input type="checkbox"/>	・法令、条例により実施することが義務付けられている。			
	<input type="checkbox"/>	・法令、条例に定められた市の責務を具体化して実施する事業である。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・公益性が高い、または必需性が高い事業である。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・将来にわたって、市民のニーズや行政需要がある。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・税金を投入して実施するにふさわしい事業であり、市民にも説明できる。			
(2) 有効性の評価 [A:有効である・B:有効性を高める余地がある・C:有効でない]					
C	<input type="checkbox"/>	・上位施策の目的を達成するために大きく貢献している。			
	<input type="checkbox"/>	・課題等の解決や市民生活に大きく貢献している。			
	<input type="checkbox"/>	・成果指標の実績値とその推移から見て、期待されるような成果をもたらしている。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・事業の対象範囲は適切であり、対象は事業を実施したことによる効果を楽しんでいる。			
(3) 効率性の評価 [A:効率が良い・B:効率性を高める余地がある・C:効率が悪い]					
B	<input checked="" type="checkbox"/>	・単位あたりの経費は適正である。			
	<input type="checkbox"/>	・これ以上コスト節減の余地がない。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・受益者負担や補助等の割合に問題はない。			
	<input type="checkbox"/>	・事業の実施方法や実施体制は適正である。			
(4) 民間活力の導入の可能性 [有・無]					
	<input type="checkbox"/>	・業務の一部または全部について、民間で実施する方が経費の節減に繋がる。			
	<input type="checkbox"/>	・業務の一部または全部について、民間で実施する方が技術・知識面で優れている。			
	<input type="checkbox"/>	・業務の一部または全部について、民間で実施する方がサービス面で優れている。			
	<input type="checkbox"/>	・民間では実施していない、または市が実施する方が優れている。			
12 総合評価(一次評価)					
(1) 自動判定結果					
★★	[★★★★] : 良好な状態を維持する事業				
	[★★★] : 概ね良好な状況である事業				
	[★★] : 見直しを行う必要がある事業				
	[★] : 抜本的な見直し、休止、廃止を検討すべき事業				
(2) 事業所管課の課長による評価(今後の方向性)			(3) 課長の評価に関する説明		
見直し	<input type="checkbox"/>	・拡充・充実		番組をより見やすく、より新しい情報を発信できるようにするため、見直しの評価とする。見直しの際は、関連するビデオ広報も並行して見直す。	
	<input type="checkbox"/>	・現状維持			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・見直し			
	<input type="checkbox"/>	・廃止			
13 成果の向上及び効率性を高めるための方策			14 課題として認識されたこと		
番組時間を5分に短縮し、制作回数を月2回にすることで、よりタイムリーな情報を発信できる形式に改める。それに伴い、従来ビデオ広報として年12本(15分番組)制作していた定例号は廃止する。			J:COMでのテレビ放映以外の放映手段、特に公共施設での放映については、利用状況が低いことから大幅な見直しが必要である。		
15 二次評価					
(1) 行政評価会議による評価(今後の方向性)			(2) 二次評価コメント		
見直し	<input type="checkbox"/>	・拡充・充実		事業所管課の課長による評価(今後の方向性)のとおり、見直しを進める。	
	<input type="checkbox"/>	・現状維持			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・見直し			
	<input type="checkbox"/>	・廃止			